

基本的な使い方

■ GUI で使う

CentOS の場合は

```
pirut
```

で画面を表示

■ リスト表示

```
yum list
```

絞り込みは grep を使う

```
yum list | grep -i hoge
```

■ インストール

```
yum install パッケージ
```

■ 削除

```
yum remove パッケージ
```

■ リポジトリを有効する

```
--enablerepo= リポジトリ
```

で無効になっているリポジトリを有効にできる

```
yum --enablerepo=base list
```

とか。

■ リポジトリを無効する

```
--disablerepo= リポジトリ
```

で有効になっているリポジトリを無効にできる

```
yum --disablerepo=base list
```

とか。

■ キャッシュをクリアする

```
yum clean all
```

キャッシュの場所は

```
/var/cache/yum/
```

衝突が起きた場合

既にインストールされているパッケージが別名で新しくなる場合
conflict エラーが発生することがある。

例えば、

```
samba 3.0 -> samba3x
```

■ 解決策 1

yum で一旦削除して、インストールする。

この方法の場合、依存しているものが多いと大変なことになる。

■ 解決策 2

rpm コマンドで対象のパッケージだけを削除してから、インストール。

依存関係を無視して、強制的に指定のパッケージだけを削除するには

```
--nodeps
```

オプションを使う。

例

```
rpm --nodeps -e パッケージ
```

パッケージをダウンロードする

http://kajuhome.com/yum_downloadonly.shtml

準備

```
yum install yum-downloadonly
```

で downloadonly プラグインを入れる。

使い方

```
yum install --downloadonly パッケージ
```

ファイルは

```
/var/cache/yum/
```

にダウンロードされる。

リポジトリに DVD ドライブを追加する

<http://bbs.fedora.jp/read.php?FID=11&TID=6167>

CentOS5 に有った例を参考に作ると

/etc/yum.repos.d/ 下に

例えば、f7-media.repo

を下記の様に作ります。

```
[f7-media]
name=Fedora $releasever - Media
#name=CentOS-$releasever - Media
baseurl=file:///media/Fedora/
file:///media/CDROM/
# file:///media/cdrom/
file:///media/cdrecorder/
gpgcheck=1
enabled=1
gpgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-fedora file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY
#gpgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-beta
```